

# それは、何の試験の時間なんだ 何を裁く秤(はかり)なんだ

日立市立坂本中学校長

授業を行う際、本校職員は「学習課題」を黄色く枠で囲みます。その上で、生徒一人一人が「学習課題」の解決に向けて、「問題」を見だし、「学習課題」を解決する活動へつなげることができるようにしています。学習指導要領が示す「問題を見だし、課題を解決する」活動、問題解決を大切にした授業です。しかし、この「問題を見だし課題を解決する」のは、授業ばかりではありません。

6月に実施された、日立市総合体育大会や1学期期末テストだけでなく、7月に実施予定の県北地区総合体育大会、日立市英語プレゼンテーションフォーラム、県北地区吹奏楽コンクールも「学習課題」といえまゝす。いやいや、生活する上で起こる様々な乗り越えなくてはならない全ての事柄も「学習課題」といって差し支えないかと思ひます。

生徒たちには、「それは、何の試験なんだ、何を裁く秤なんだ」と自らを問い、立ち向かって欲しい。そのためなら、できうる限りの支援をしたいと考えています。

予測できない未来に、浮上していける力をもった生徒に育てて欲しい。しかし、生徒自身がそれを「問題を見だし課題を解決する」ことなしには、大きな世界に進んでいけないのです。くたくたで気力を失っているときは、なかなか自分自身の可能性を信じていることができないけれど、今舞い上がるその時だと思つたときは、自力で浮上できる船のような力を蓄えさせたい。どんな厳しい状況におかれても、自分のオールをしっかり握って進んでほしいと思つたのです。

夏季休業は、長いです。一つでも多く「問題を見だし課題を解決する」活動を通して、新たな目標を立てて新学期に備えることができるようご家庭におかれましても、一声かけていただくと幸いです。生徒たちの大きく成長した姿を2学期見ることを楽しみにしています。

令和5年7月4日